

# 和歌山縣報

第千百十七號

明治四十四年十月二十四日

## ○縣令

○和歌山縣令第五十一號

明治二十八年<sup>五月</sup>縣令第十七號消防組設置區域中那賀郡ノ都長田村ノ次ニ左ノ一欄ヲ追加ス  
明治四十四年十月二十四日  
和歌山縣知事 川村竹治

那賀郡 東貴志村 東貴志村一圓

## ○告示

○和歌山縣告示第三百六十六號

左記自轉車鑑札ハ今般紛失届出ニ依リ自今無効トス但シ該鑑札ヲ發見シタル者ハ最寄郡市役所ニ届出ツヘ

明治四十四年十月二十四日

和歌山縣知事 川村竹治

鑑札番號

紛失月日

住 氏 名

第六四九號

本年六月二十日

伊都郡高野村大字高野山

谷 熊三郎

第六六一號

本年七月五日

伊都郡妙寺町大字西飯峠

溝端彌一郎

○和歌山縣告示第三百六十七號

和歌山縣日高郡藤田村大字藤井

小池久兵衛

右ノ者明治四十二年十月三十日和歌山縣告示第三百五十三號工事執行規程施行細則第三條第四號ニ依リ明治四十三年七月十日ヨリ向フ貳箇年間和歌山縣廳ニ於テ執行スル工事ニ關與スルコトヲ禁セリ

明治四十四年十月二十四日

和歌山縣知事 川村 竹治

○和歌山縣告示第三百六十八號

左記ノ通定置漁梁ヲ免許シ免許漁業原簿ニ登錄ス

明治四十四年十月二十四日

和歌山縣知事 川村 竹治

全	四十四年十月二十日	免許年月日	免許番號	漁業ノ種類及名稱	漁場ノ位置	漁獲物ノ種類	漁業時期	漁業權存續期間	條件	代表者
九八二全	九八一			釣築類 漁業帖 靴掛	日高郡川上村大字皆瀬字鳥居 ト全村大字川原河字土井トニ 介レル日高川筋通稱沖ノ鳥敷 ノ瀬	魚類	九月一日至十一月三日	十年	一 木石類ヲ以テ支柱ト爲スヘ カラス 一 舟筏通船ニ障害トナラサル 機設備スヘシ 一 全漁場ニ於テ全時ニ二個以 上ノ漁具ヲ敷設スヘカラス 一 漁期終了シタルトキハ一週 間以內ニ建設物ヲ撤去スヘシ	日高郡川上村 大字皆瀬 北亦 彰
ニ介レル紀ノ川筋	ト龍門村大字杉原字宮ノ前ト	別賀郡長田村大字島字神ノ木								別賀郡粉河町 大字粉河 生地鐵之助



全	九八七	全鮎瀬 張網	日高郡御坊町大字島字 外川原ト全郡野口村大 字岩内ト錦トニ介レル 日高川筋	全	全	全	全	全郡野口村 大字岩内 堂前新次郎
---	-----	-----------	--	---	---	---	---	------------------------

○和歌山縣告示第三百七十號

伊都郡產牛組合定期家畜市場開設ニ付家畜市場法第七條ノ區域及期間左ノ通指定ス

明治四十四年十月二十四日

和歌山縣知事 川村竹治

記

一區域 伊都郡一圓但シ花園村ヲ除ク  
一期間 開催日ノ前後各三日間

○辭令

○明治四十四年十月二十日

任和歌山縣東牟婁郡書記

給十級俸

畑中芳彦

○明治四十四年十月二十一日

九級俸下賜

和歌山縣立粉河中學校教諭ニ任ス

六級俸ヲ給ス

和歌山商業學校教諭

坂口直馬

長野縣立上田中學校教諭

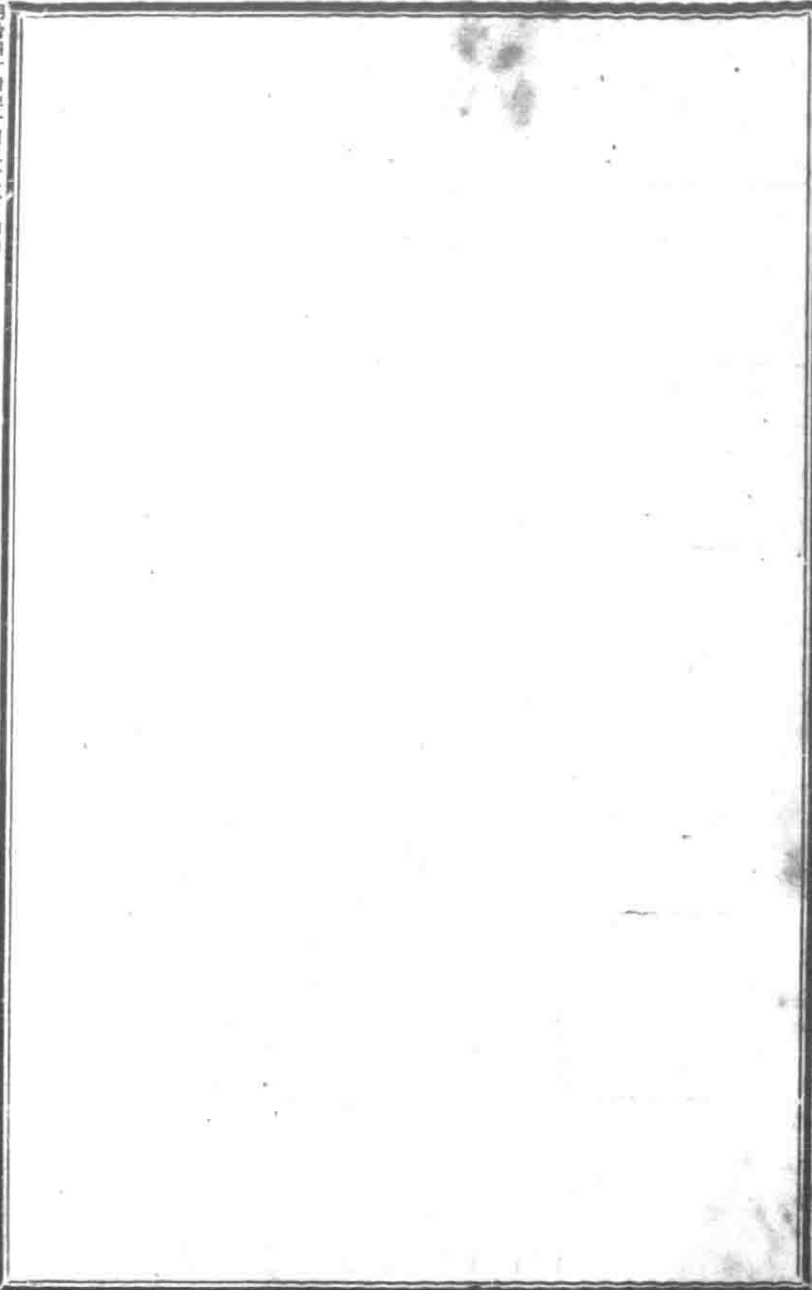
穗積信順

# ○觀象

自十月十九日至十月廿一日氣象

(和歌山測候所觀測)

種目	十月十九日		十月二十日		十月廿一日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七六六耗〇	七六四耗七	七六六耗二	七六六耗四	七六三耗二	七六五耗四
平均氣溫	一四度八	一五度〇	一三度八	一五度四	一七度五	一五度三
最高氣溫	二〇度九	二一度六	一七度九	二一度五	二二度七	二二度〇
最低氣溫	九度四	九度九	一〇度一	九度六	一四度一	九度七
最多風向	北	北	北東	北東	北	北
平均風力	三米一	二米四	一米五	三米一	二米四	二米七
天氣	晴	晴	曇後雨	晴	雨後晴	晴
降水量		〇耗二	一三耗八		二〇耗四	
記事雜象	夜間月暈ヲ映ス	朝間微雨	午后降雨		朝間露雨	



明治四十四年十月二十三日印刷  
明治四十四年十月二十四日發行  
每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日發行

和歌山縣知事官房

印刷 和歌山市北休賀町六番地 宗七  
印刷所 和歌山市北休賀町六番地 活版部